

JA全農ウィークリー

東北ブロック労働力支援協議会設立

(東北営農資材事業所)

2
面

6面

スタートアップインタビュー
株式会社Cuborex 寺嶋瑞仁代表（広報・調査部）



手押し車を電動化する「E-Cat kit(イーキャットキット)」(6面)



コロナ禍の東北花き生産者支援の「東北六花」クラウドファンディングで、花を飾る習慣を提案する「東北六花BOX」と花瓶、花ばさみのセット(8面)



オンラインで開かれた東北ブロック労働力支援協議会設立総会。総会後に意見交換会も行った(2面)

- 2 あなたの野菜バズレシピコンテスト開催
(千葉県本部)
- 3 全国Aコープ協同機構が
恵方巻シーズンの食品ロスで対策
(くらし支援事業部)
- 消費向け仙台牛・仙台黒毛和牛
レシピブック制作(宮城県本部)
- 4 令和2年度 各事業の主な取り組み④
畜産販売事業／畜産生産事業／酪農事業
- 5 JAズームイン(兵庫:JAたじま)
- 7 JAズームイン(福岡:JA筑紫)

- 8 コロナ禍の東北花き生産者支援の
「東北六花」クラウドファンディング実施中
(東北営農資材事業所・東北6県本部)
- 農泊&バカンス法オンラインシンポ
開催へ(くらし支援事業部)
- JAタウンショップ紹介
グッドぐんまのびっくり市場

**Web版JA全農ウィークリーは
こちらから**



<https://www.zennoh-weekly.jp/>

News!



東北ブロック労働力支援協議会を設立

オンラインで設立総会開催

東北営農資材事業所

設立総会後の意見交換会。画面中央は協議会会長を務める福島県本部の田場川誠部長



全農は2月4日、農業現場の労働力不足を広域連携で解決するため、「東北ブロック労働力支援協議会」を設立しました。

同協議会は九州、中国四国に続く3例目のブロック協議会となります。

オンラインで開いた設立総会には、協議会のメンバーであるJA県中央会、農林中金仙台支店、パートナー企業、全農の他、オブザーバーとして農林水産省、内閣府、JA全中、県行政、農協観光、日本農泊連合、Aワーク創造館など協力機関が参加しました。

主な活動内容として、ブロック内各地域の課題の共有と解決に向けた先進県・協力機関による相談・サポート、県域単独では困難な年間作業量の平準化や労働力の融通によるパートナー企業と連携した農業受委託の事業化など、労働力支援の取り組みを推し進めます。

全農はブロック協議会という大きな枠組みをつくることにより、地域農業の振興を核とした地方創生に貢献することを目指します。

News!



あなたの野菜バズレシピコンテストを開催

細部までこだわった力作や簡単レシピなど1426件が集合

千葉県本部



ちば野菜レシピコンテスト
「特設サイト」はこちら



※応募条件を満たした有効応募数。

上位入賞したさつまいもスムージー (左)とだいこんもち

審査によって選ばれたコンテスト上位者には、千葉の特産品がプレゼントされます。

千葉市出身の人気料理研究家・リュウジ氏を起用し、県産野菜を使った「バズレシピ」の紹介や消費者の方からレシピを募集したコンテストには1426件(※)の応募がありました。期間中はリュウジ氏のInstagramアカウ

ント(ストーリー)でバズレシピの紹介が行われました。応募の中には、細部までこだわり抜いた力作や、忙しい人にうれしい簡単レシピなど、さまざまなレシピを投稿いただき、秋冬野菜の消費拡大に向けて大きな盛り上がりを見せました。

千葉県本部とJAグループ千葉が「うちで食べよう」ちばは野菜の王国」をキーワードに昨年11月20日から1月31日にかけて開催した消費者参加型レシピ投稿キャンペーン「あなたの野菜バズレシピコンテスト」の募集が終了し、コンテスト上位者が決まりました。



全国Aコープ協同機構が恵方巻シーズンの食品ロスで対策

4Aコープ会社が参画

くらし支援事業部

全農が事務局を務める「全国Aコープ協同機構」は、恵方巻シーズンにおける食品ロスの削減に取り組みました。農林水産省は需要に見合った販売の推進とPR資料の提供を実施しており、同機構に加盟するAコープ東北、エーコープ関東、エーコープ近畿、Aコープ九州の四つのAコープ会社が参画しました。

Aコープ各社では、ポイント特典などの予約販売の推進強化や、ハーフサイズを充実するなど商品構成の見直し、販売状況を踏まえた柔軟な値引き販売の実施など、従来からの取り組みをより精度を上げて実施しました。Aコープ九州では「節分スイーツ」としてロールケーキや生菓子など、従来とは異なるカテゴリーの商品を展開し「多様な節分の過ごし方を提案しました。同機構は食品ロス削減への取り組みを進めるとともに、昨年12月に発表した「全国Aコープ協同機構SDGs対応方針」に基づき、これまで以上に環境対策・社会貢献に



農水省提供のPR資料を貼付した売り場

ロールケーキ恵方巻き(Aコープ九州で)



消費者向け仙台牛・仙台黒毛和牛レシピブックを制作

おうち時間を「仙台牛」で豊かに楽しく

宮城県本部

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、内食需要に注目が集まっていることから、宮城県本部は仙台牛銘柄推進協議会と共同で、消費者向けに「仙台牛・仙台黒毛和牛のレシピブック」を制作しました。

仙台牛・仙台黒毛和牛を使用した、さまざまな調理法を掲載している他、仙台牛の説明や牛肉についての基礎知識、生産者についても紹介しています。



見ているだけでおなが空いてくる「仙台牛・仙台黒毛和牛のレシピブック」

宮城県本部畜産部は「首都圏で緊急事態宣言が出たことで、外食関係の需要減少は避けられない。こんな時だからこそ、食を通して全国の皆さんに少しでも元気を与えられるよう、このレシピブックを通して全国の牛肉消費拡大に役立てられれば」と期待しています。

令和2年度 各事業の主な取り組み

令和2年度に全農が各事業で展開した主な取り組みを紹介します(全5回)。

第4回 畜産販売事業／畜産生産事業／酪農事業

畜産総合対策部

需要が落ち込んだ原皮で手帳カバー作成

新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより、世界的に皮革製品の消費が落ち込み、国内でも家畜を食肉に加工(と畜)する過程で発生する^{げんぴ}原皮を専門業者が引き取れない事態が発生し、家畜流通に深刻な影響が出ています。

こうした事態を受けて、畜産農家支援の取り組みの一つとして、国産肉用牛の原皮を原料とした黒色の手帳カバーを作成しました。全農手帳を利用する本会役職員を対象に、家畜流通に重要な皮革製品ができるまでの仕組みを紹介するとともに配布します。



手帳カバーの帯封にQRコードを記載して皮革製品ができるまでを紹介

畜産生産部

畜産農家の予防衛生支える家畜クリニック事業

令和2年度も豚熱や鳥インフルエンザなどの重要家畜疾病が全国で問題となりました。畜産農家の予防衛生を支えるため、全農家畜衛生研究所では40年以上前から家畜クリニック事業を展開しており、現在は千葉県に集中検査機関であるクリニックセンターを、農場対応部署として北海道、岩手、東京、岡山、福岡の全国5カ所にクリニック分室を置き、総勢27人の獣医師(全農職員)を配置しています。そして彼ら獣医師が年間延べ2000回以上農家に足を運び、行政とも連携しながら家畜の衛生検査とそれに基づく予防衛生指導を行っています。



全農職員の獣医師が農家に足を運び、家畜の衛生検査と予防衛生指導

酪農部

コロナ禍で生乳・乳製品の需給調整に対応

コロナ禍による生乳需給の大幅な変動に対し、生乳再委託販売と需給調整に一層力を注ぎました。春先は休校により行き場を失った給食用牛乳向けの生乳が廃棄にならないよう、農水省や乳業メーカーとも協調し生乳需要喚起に努めつつ、最終的には粉乳やバター向けの完全処理を実施しました。一転、夏休みの縮小で給食用牛乳の増加による需給逼迫が見込まれたため、北海道からの生乳移出を増やすなど安定供給に努めました。

また、JAタウン内に「酪市酪座」を開設し、一般流通が難しい業務用バターを販売し、新規チャネルでの供給や理解醸成に取り組みました。さらに11月には「第14回

全農学生『酪農の夢』コンクール』の表彰式及び交流会を開催し、次世代育成にも取り組みました。

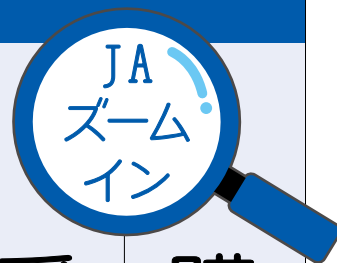
今後も将来にわたる酪農経営の安定と乳業の健全な発展に向け、一層機能強化に努めます。



昨年10月にJAタウンで「酪市酪座」を開店。ぜひ、ご覧ください

JAタウン
「酪市酪座」は
こちら





購買業務効率化に向けて

受発注センターシステム導入

JAたじまでは経営改善計画で、購買事業では物流改革に取り組んでおり、今年度から営農生産部資材課に専任の「物流改革推進チーム」を配置しました。JA管内にある12の営農生活センターを3ブロックに分けてブロック内での物流を行う



肥料、農薬の発注情報を入力

仕組みを作り、業務の効率化に取り組んでいます。

そうした動きの中で、令和3年1月から全農が開発した「受発注センターシステム」のWEB受発注機能を導入しました。購買業務の効率化による要員削減や、ミス防止が狙いです。

ファクスからWEBへ業務の「見える化」実現

従来の生産資材などの受発注の流れは、各営農センターからFAXで発注を受けて、本店担当課が商品ごとに全農などへ発注していました。受発注センターシステムは、発注書をWEB上で作成し、センター、本店間をオンラインで受発注を行い、全農への発注もオンラインで行います。

FA X発注からWEBでの発注になることで、ペーパーレス化が進み、受発注業務の効率化が望めます。また、システム上に発注履歴が蓄積することにより、業務の「見える化」にもつながります。データの活用により不良在庫や過剰在庫を抑制して、在庫ロスの発生を防ぐなどのメリットも見込めます。

組合員からネットでの直接受注も視野に

新しいシステムを導入したばかりで、現場でいろいろな課題も見えてきました。それらを精査し、さらに業務の効率化や合理化に結び付けます。今後は、「受発注

JAたじま (兵庫県)



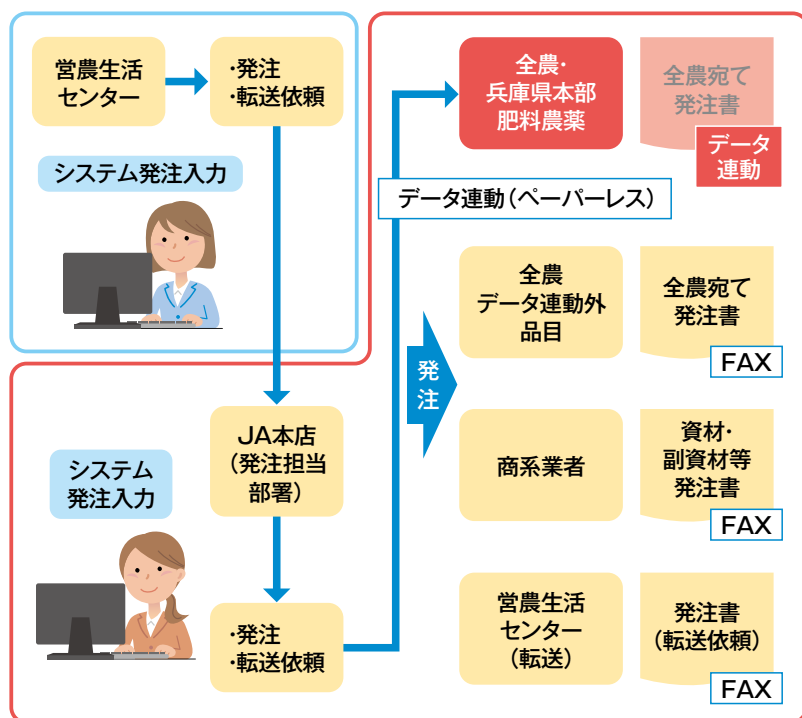
概要 令和2年3月31日現在

正組合員数	2万2756人
准組合員数	2万5302人
職員数	776人
販売品取扱高	63億8千万円
購買品取扱高	28億1千万円
貯金残高	3583億8千万円
長期共済保有高	1兆1065億9千万円
主な農畜産物	米、但馬牛、たじまピーマン、朝倉さんしょ、岩津ねぎなど

センターシステム」の新たな機能を活用し、仕入れ事務の本店集約のほか、組合員

からのネットによる直接受注など、より一層の業務改善を目指します。

受発注センターシステムフロー図



手押し車を電動化する「E-Cat kit」を製造開発

株式会社CuboRex 寺嶋瑞仁代表

株式会社CuboRex(キューボレックス)は、既存の猫車(手押し車)を電動化するキット「E-Cat kit(イーキャットキット)」を2020年10月からJAありだを介して、主に和歌山県内で販売をしています。今年2月時点で販売台数を和歌山県内で100台を達成しました。3月以降は全国からの注文にも対応可能です。【広報・調査部】

使用されたお客さまからどのような反響がありましたか。

全員がおっしゃるのは「運搬作業が楽になった」という事です。数値化は難しいですが、キューボレックスでは、運搬業務に関わる労力は約半分以下、運搬に関わる作業時間は2/3程度と言っています。

御社が和歌山に営業所を出してまで発売し始めたときの、きっかけとなった生産者の方のお話をお聞かせください。

実は私が和歌山県有田地域の出身で、最初は年齢に関係なく営業をしていたのですが、実態として一部の例外を除いて購入意思決定

をしてくれたのが若い方ばかりでした。僕から見て和歌山は若手が多い地域なんだなと思いました。新規就農者も一定数いますし、後継者の方も多いですね。

年代的に50、60代の方も最近に興味を示していただいているという実感はありますか。

とてもありますし、そのために重要なピースが二つありました。それはJAの協力です。農家さんが農業機械を買う時、真っ先に考えることは、価格・性能は当然のことながら、皆さんメンテナンスなんです。今回、地元のJAさんにメンテナンス部分を担っていただいています。

御社のようなベンチャー企業と一緒に取り組む上で、JAに持ってもらいたいマインドなどはありますか。

JAさんとのやりとりを含めて



寺嶋瑞仁代表(左)と嘉数正人取締役

思ったことは、「やってみる」という精神は持つてほしい。JAさんは組合員さんに対して安心安全に利用できる農業機械を求めますし、それは当然なのですが、多少未達成でも一緒に育ててほしい。

御社のFacebookを見ると、利用者がイーキャットキットを自分好みに改良したことを報告していて、参加型のプロダクトになっているというのが素晴らしいと思います。

それはうちのプロダクト全部の

特徴です。そこを取り上げてくれるのは開発者としてはすごくうれしいです。購入者・利用者の皆さんは、僕たちからすると開発仲間です。ユーザーが自分の使用環境にあわせて工夫したところが出てきて、それを一緒に共有してもらう。メーカーである僕たちが学ぶ取つて基幹となる製品にフィードバックしています。私たちはSNSを使いながらもづくりをするのが当たり前の世代です。

今後の展望をお聞かせください。

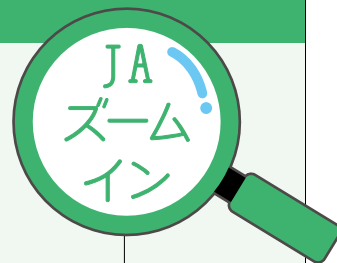
「不整地で使えるガチなレゴ」として柑橘の分野だけでなく、農業、畜産業などの分野に「イーキャットキット」を普及していきたいです。今回は猫車でしたがこのシステムは不整地で活躍する車輪関連全般に実装できるシステムです。足場の悪い環境の農場や雪国の方たち向けに製品はこれからもっともっと進化する予定です。

株式会社CuboRex 雪国や農地などの悪路環境で使用可能な乗り物や運搬器具を製造開発。主な製品はクローラ動力ユニット「CuGo」、手押し輪車の電動化キット「E-Cat kit」など。

株式会社CuboRexのホームページはこちら



「E-Cat kit」を装着した一輪車



直売所を通じて農業振興

少量多品目の栽培が定着

JA筑紫は、福岡市と隣接し、ベッドタウンとして

都市化した地域が大半を占めます。また、管内は5つの行政区をエリアとして構成されています。

農業は水稲が中心で、近年高齢化などにより農業者は減少傾向にありました。そのような環境下でやりがいのある農業として、以前から進めてきたのが直売所を通じた農業振興です。組合員の限られた農地に少量多品目の栽培を推進しました。結果として、その栽培スタイルが定着し、多くの組合員

が直売所の出荷者となりました。

5店舗の累計来客者が1000万人を突破

当JAは、農産物直売所「ゆめ畑」を平成14年度の那珂川店を皮切りに行政区ごとに5店舗展開しています。現在では、管内で生産した農畜産物の地産地消の拠点として、多くの消費者に親しまれています。令和元年度には年間来客数100万人を突破し、16年間の累計来客数も1000万人に到達することができました。各店舗が小型の直売所で、新鮮野菜を日々出荷いただくことが家庭の冷蔵庫的な役割を果たしており、リピートされるお客さまの増加につ

農畜産物の地産地消の拠点「ゆめ畑」

が直売所の出荷者となりました。

当JAは、農産物直売所「ゆめ畑」を平成14年度の那珂川店を皮切りに行政区ごとに5店舗展開しています。現在では、管内で生産した農畜産物の地産地消の拠点として、多くの消費者に親しまれています。令和元年度には年間来客数100万人を突破し、16年間の累計来客数も1000万人に到達することができました。各店舗が小型の直売所で、新鮮野菜を日々出荷いただくことが家庭の冷蔵庫的な役割を果たしており、リピートされるお客さまの増加につ

JA筑紫 (福岡県)



概要		令和2年3月31日現在
正組合員数	3274人	
准組合員数	1万7823人	
職員数	477人	
販売品取扱高	19億6千万円	
購買品取扱高	11億円	
貯金残高	3598億3千万円	
長期共済保有高	6536億4千万円	
主な農畜産物	米、麦、肥育牛、軟弱野菜、ブロッコリー、アスパラガス	

ながっています。

安全・安心、安定的に農畜産物を食卓へ

コロナ禍により消費動向も変化しつつありますが、お客さまの食に対する期待に応えるべく、「JAだから

出来る」、「JAでしか出来ない」農業振興を継続し、地域の食と農を守っていきます。そして、生産者と消費者の懸け橋として、安全・安心で安定的に農畜産物を食卓へお届けする使命をこれからも担っていきます。



店内には組合員が生産した新鮮野菜が並び、お客さまの冷蔵庫的役割も担う



「東北六花」クラウドファンディング実施中

コロナ禍の影響を受ける東北の花き生産者を支援

新型コロナウイルス感染拡大の影響で花き消費の低迷が続いていることから、東北の花き生産者への支援の輪を広げようと、「東北六花」のクラウドファンディング企画をスタートしました。全農ECソリューションズ(株)が開設した「食と農のクラウドファンディング AGRISSEIVE!」で実施中です。

【東北営農資材事業所・東北6県本部】

支援いただいた方へのリターン品には、東北6県の花の詰め合わせ「東北六花BOX」に次回利用時の割引クーポンが付いてくるお試しプランの他、離れて住む家族や友人らに「東北六花BOX」を贈れるプラン、花を飾る習慣を応援する「東北六花BOX」に花瓶や花ばさみがセットになったプランも用意しています。

2月12日現在の支援者は50人を超え、支援金額も17万円超となりました。残り1カ月弱、目標金額の50万円達成に皆さまのご支援をお願いします。

支援は
こちらから



「東北六花BOX」に
花瓶や花ばさみが
セットになったプランも

農泊&バカンス法オンライン シンポジウム開催のご案内

【くらし支援事業部】



日時 2021年3月13日(土) 14:00~16:15

会場 オンライン(zoomウェビナー)

参加費 無料

事前申し込みは
こちらから



内容 JA全農代表理事理事長による基調講演、石破茂衆議院議員他によるパネルディスカッション 他

主催 未来ある村日本農泊連合

協力 全国農業協同組合連合会

詳しい内容は
Web版をご覧ください



JA全農のインターネットショッピングモール
JAタウン ショップ紹介

グッドぐんまのびっくり市場

「ブリックスナイン」は、通常のトマトの糖度 5~6度を大きく超える「高糖度トマト」の老舗ブランドです。ブリックスナインの「ブリックス」は糖度、「ナイン」は「糖度9度以上」を指します。

群馬県では、遮根透水シートを利用した高糖度トマト栽培法を開発し、品質を維持しています。

ブリックスナインはしっかりとした果肉で濃厚な味わいのため、そのまま食べるのがおすすめです。カプレーゼなどチーズとの相性も抜群。フルーツのような高糖度トマト「ブリックスナイン」をぜひご賞味ください。



ぐんまの誇るフルーツのような
「高糖度トマト「ブリックスナイン」」
AMサイズ(15~16玉) ... 3280円(税込み)

ご注文は
こちらから



▶ JAタウンはこちらから <https://www.ja-town.com>
▶ お問い合わせは ☑ shop@ja-town1.com



『JA全農トピックス』の
ツイッターはこちら



私たち全農グループは、
生産者と消費者を 安心で結ぶ懸け橋
になります。